

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】

Fabry 病患者に対する酵素補充療法における腎予後と腎組織との比較検討

【研究の概要】

研究の目的

ファブリー病は、生まれつき細胞内での糖脂質の分解に必要な酵素である -ガラクトシダーゼの不足により、血管、筋肉、腎臓、心臓、神経、目など全身の細胞に糖脂質が蓄積する先天代謝異常症です。腎臓の合併症としては、腎臓の血管や糸球体という濾過装置に糖脂質が蓄積することで尿蛋白が出現、徐々に腎機能が悪化し、20代から40代で末期腎不全に至ってしまいます。酵素補充療法が施行されるようになり、疾患の進行はある程度抑制されるようになりましたが、未だ十分ではなく、腎障害は徐々に進行してしまいます。しかしながら、腎機能が悪くなる速度は患者さんによって異なり、またその差が生じる原因もはっきりしておりません。そのため本研究では、腎予後の個人差を生む原因を見出すことを目的として、酵素の補充療法を施行され、かつ治療前に腎生検を施行された患者さんのデータを使用させて頂き、酵素補充療法を開始した際の腎臓全体あるいは腎臓の血管やポドサイトへの糖脂質の沈着量、腎臓の傷害度などの組織情報、ならびに腎機能や尿蛋白量などの臨床情報と腎予後とに連関があるのかを検証します。

研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日までを予定しています。

対象となる方等

対象となる方：2000年1月～2019年12月の期間に東京慈恵会医科大学附属病院で腎生検を施行された18歳以上のFabry病患者さん。

研究に利用する試料、情報等試料：

試料：腎生検時に採取された腎組織の余剰試料

情報：年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、腎生検結果）など

他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

他の機関へ試料や情報を提供することはありません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09:00～17:00）】

東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科

研究代表者：横尾 隆よこお たかし 連絡担当者：岡部 匡裕おかべ まさひろ 電話：03-3433-1111（内線：3221）

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。